

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年02月21日

計画の名称	姫路市における賑わいと魅力ある多核連携都市の実現											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	姫路市											
計画の目標	<p>本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化が加速する中、社会経済情勢の変化に的確に対応したよりよいまちづくりを実現するため、持続可能な都市の構築に向けて都市機能を分担して相互補完する「多核連携型都市構造」のさらなる充実が急務となっている。これを受けて、高次都市機能が集積する都心部においては世界文化遺産姫路城を核とした国際観光都市としてふさわしい都市基盤を形成し、豊かな歴史文化を活かした賑わいと魅力を創出する。</p> <p>あわせて、地域生活基盤を支える道路や公共交通機関施設等の整備により地域生活圏相互や都心部への交通利便性と生活利便性の向上を図り、快適で住みよい地域生活圏を形成する。</p> <p>これらにより賑わいと魅力ある都心部や交通利便性と生活利便性に優れた地域生活圏による、安全・安心で持続可能な多核連携都市の実現を目指す。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,243	A	5,243	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	市民1人当たりの公共交通利用回数を113回(H29年度)から120回に増加させる。 姫路市内の鉄道・バス年間乗車人員を測定する。 (市民1人当たりの公共交通利用回数) = (市内の鉄道・バス年間乗車人員) / (人口)	113回	120回	120回
2	姫路城周辺来訪者数の増加。 姫路城周辺の施設(好古園・美術館・歴史博物館・姫路文学館)利用者数を測定する。	665000人	702200人	727000人
3	道路交通における死傷事故を平成29年と比較して約1割削減する。 姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。	3689件	3425件	3320件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	改築	(1)川手線(南1工区)	現道拡幅 L=750m W=16.0m	姫路市						700	-	
	A01-002	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	区画	新設	阿保地区((都)大日線ほか3路線)	区画整理 A=90.6ha	姫路市						588	-	
	A01-003	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	区画	新設	姫路駅周辺地区((都)東駅前線ほか6路線)	区画整理 A=45.5ha	姫路市						20	-	
	A01-004	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)熊見線ほか1路線	道路新設 L=604m W=16m	姫路市						20	-	
												小計						1,328	
	市街地整備事業	A13-005	市街地	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	JR網干駅前都市再生区画 整理事業	区画整理 A=5.0ha	姫路市						417	-
		A13-006	市街地	一般	姫路市	間接	英賀保駅周辺土地区画 整理組合	-	-	英賀保駅周辺都市再生区 画整理事業	区画整理 A=69.5ha	姫路市 英賀保 駅周辺地区						327	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											小計						744		
都市再生整備計画事業	A10-007	都市再生	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	姫路城周辺地区都市再生整備計画	A = 256.9ha	姫路市						158		-
											小計						158		
道路事業	A01-008	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)広畑幹線ほか1路線	道路新設 L=480m W=22-36m	姫路市						1,993		-
	A01-009	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)広畑幹線ほか1路線(橋梁部)	道路新設 L=144m W=26m	姫路市						935		-
	A01-010	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)網干線	道路新設 L=272m W=16-19m	姫路市						85		-
												小計						3,013	
											合計						5,243		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	232	706	281		
計画別流用増 減額 (b)	55	0	0		
交付額 (c=a+b)	287	706	281		
前年度からの繰越額 (d)	0	191	426		
支払済額 (e)	96	471	610		
翌年度繰越額 (f)	191	426	97		
うち未契約繰越額(g)	111	150	2		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	38.67	16.72	0.28		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	基金買戻し	関係機関との調整に時間を要したため。			

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における賑わいと魅力ある多核連携都市の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 継続的な事業の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関係機関等との調整が図られている。	○

(参考図面)

